



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月28日

上場会社名 杉本商事株式会社 上場取引所 東
コード番号 9932 URL <https://www.sugi-net.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 杉本 正行
問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理本部長（氏名） 中根 潤二 (TEL) 06 (6538) 2661
半期報告書提出予定日 2026年11月13日 配当支払開始予定日 2026年11月30日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	24,990	9.7	1,023	56.9	1,311	44.8	840	27.6
2026年3月期中間期	22,774	△1.7	651	△27.9	905	△20.9	658	△11.8

（注）包括利益 2027年3月期中間期 1,886百万円（93.3%） 2026年3月期中間期 976百万円（121.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	48.11	—
2026年3月期中間期	35.60	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	44,426	35,420	79.7
2026年3月期	43,630	34,007	77.9

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 35,420百万円 2026年3月期 34,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2027年3月期	—	27.00			
2027年3月期（予想）			—	27.00	54.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,100	5.1	2,070	1.1	2,565	0.6	1,736	△17.8	99.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期中間期	18,398,174株	2026年3月期	22,798,474株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	919,955株	2026年3月期	5,320,209株
③ 期中平均株式数(中間期)	2027年3月期中間期	17,478,248株	2026年3月期中間期	18,503,688株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調を維持したものの、中東情勢の緊迫化や資源価格の変動等により依然として先行き不透明な状況が続いております。また、物価上昇の影響による仕入れコストや人件費の上昇が継続しており、企業収益への影響要因となっております。このような情勢下において、国内製造業では、生成AIの普及やデータセンター需要の拡大を背景に半導体関連分野で設備投資が堅調に推移したほか、人手不足を背景とした自動化・省人化投資や脱炭素に向けた省エネ設備への投資需要も底堅く推移いたしました。また、自動車関連分野や一部素材産業では慎重な動きもみられたものの、製造業全般における設備投資需要は堅調に推移いたしました。

当社グループは第4次中期経営計画『Start of the next 100 years～変化へチャレンジ』において、大きく変化する経営環境に対応できる筋肉質な企業体質へ変革を推進し、顧客視点を保ち、グループ一丸となって挑戦し続け、経営計画の達成に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高249億90百万円（前年同期比9.7%増）、新基幹システムの運用定着に伴う業務効率化の進展等により、販売費及び一般管理費が当初想定を下回って推移したことから、経常利益13億11百万円（前年同期比44.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は8億40百万円（前年同期比27.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(東部)

東部では、鉄鋼・自動車関連分野において、原材料価格や光熱費、人件費の上昇に加え、地政学リスクや世界市場の不透明感を背景に、大型設備投資の意思決定に遅れや抑制の動きがありました。一方、半導体関連分野では、生成AIの普及やデータセンター向け投資拡大を背景に、半導体製造装置、回路基板関連および関連設備向け需要が拡大しました。また、変電設備、研究開発およびグリーンエネルギー関連分野に加え、人手不足を背景とした自動化設備や省エネ型産業機器の導入も進みました。こうした状況の中で、全体としては堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は59億66百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は1億58百万円（前年同期比50.6%増）となりました。

(中部)

中部では、自動車関連分野において、新たな国内設備投資の動きは限定的であり、引き続き慎重な状況がみられました。一方、半導体関連分野では市場拡大の裾野が広がり、材料メーカーや部品メーカー、機械メーカーなど幅広い業種において生産活動が増加しました。また、政策的な後押しを背景に、防衛関連分野においても需要拡大の動きがありました。こうした状況の中で、全体としては堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は70億53百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益は2億93百万円（前年同期比126.2%増）となりました。

(西部)

西部では、アルミニウムおよび鉄鋼関連分野において、新設住宅やビルの着工件数の伸び悩みを背景に、各地区の中小企業を中心として需要の弱さがみられました。一方、半導体関連分野では、生成AIの普及やデータセンター向け投資の拡大を背景に、半導体製造装置向け搭載部品の需要が増加しました。また、輸送用機械製造業においても、電動化に対応した生産設備や生産基盤整備への投資が継続したほか、ハイブリッド車を中心とした生産計画を背景に、消耗工具や生産設備更新に関連する需要も拡大しました。こうした状況の中で、全体としては堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は108億31百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益は5億14百万円（前年同期比43.3%増）となりました。

（海外）

海外では、中国市場を中心に半導体関連および二次電池関連分野の需要が増加し、生成AIの普及やデータセンター向け設備投資の拡大を背景に、半導体製造装置やサーバー関連設備、精密部品および測定機器などへの需要が拡大しました。また、台湾市場においてもAIサーバーや先端半導体関連分野における設備投資需要が継続し、韓国市場においても半導体関連分野を中心に需要が増加しました。一方、タイ市場を中心とした自動車関連分野では、EVへのシフトや中国系EVメーカーの進出による市場環境の変化を背景に、設備投資に慎重な動きがみられました。こうした状況の中で、全体としては増収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は11億39百万円（前年同期比32.9%増）、セグメント利益は57百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間における総資産は444億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億95百万円増加しております。資産につきましては主に、受取手形及び売掛金が10億25百万円、現金及び預金が1億97百万円、商品が1億28百万円減少する一方で、投資有価証券が15億69百万円、土地が5億79百万円、電子記録債権が2億71百万円増加したためであります。負債は90億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億16百万円減少しております。これは主に、繰延税金負債が5億9百万円増加する一方で、買掛金が9億9百万円、未払消費税等が1億52百万円、未払法人税等が51百万円減少したためであります。また純資産は354億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億12百万円増加しております。これは主に、その他有価証券評価差額金が10億64百万円増加したことによるものであります。なお、自己株式の消却に伴う資本剰余金の欠損補填等により利益剰余金が53億52百万円、自己株式が57億34百万円減少しております。

キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より2億21百万円減少し、80億78百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は8億66百万円（前中間連結会計期間は24億21百万円の収入）となりました。これは主に、仕入債務の減少9億9百万円、法人税等の支払額4億98百万円の支出に対し、税金等調整前中間純利益13億12百万円、売上債権の減少7億53百万円の収入によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は6億19百万円（前中間連結会計期間は9億95百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による5億78百万円の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は4億68百万円（前中間連結会計期間は5億42百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払4億68百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年4月27日に公表しました業績予想から変更はありません。

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しているため、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,367,731	8,170,162
受取手形及び売掛金	9,784,325	8,758,836
電子記録債権	5,500,984	5,772,619
商品	1,748,966	1,620,167
その他	220,280	199,147
貸倒引当金	△1,478	△1,377
流動資産合計	25,620,809	24,519,555
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,540,035	3,436,746
構築物(純額)	48,642	44,272
車両運搬具(純額)	6,358	5,085
工具、器具及び備品(純額)	58,486	49,544
土地	6,274,050	6,853,325
建設仮勘定	95,305	90,154
有形固定資産合計	10,022,879	10,479,128
無形固定資産		
ソフトウェア	820,536	699,039
のれん	182,415	153,613
ソフトウェア仮勘定	—	11,000
その他	38,894	38,894
無形固定資産合計	1,041,845	902,546
投資その他の資産		
投資有価証券	5,799,951	7,369,832
出資金	14,860	14,840
退職給付に係る資産	891,859	908,186
差入保証金	221,178	219,769
その他	19,438	14,537
貸倒引当金	△2,100	△2,100
投資その他の資産合計	6,945,187	8,525,066
固定資産合計	18,009,912	19,906,741
資産合計	43,630,722	44,426,297

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,161,335	3,251,348
短期借入金	2,300,000	2,300,000
未払金	253,835	212,728
未払費用	693,304	696,114
未払法人税等	543,782	492,445
未払消費税等	264,400	112,097
その他	75,991	97,837
流動負債合計	8,292,649	7,162,571
固定負債		
長期末払金	125,500	125,500
長期預り保証金	158,001	157,351
退職給付に係る負債	128,232	132,467
繰延税金負債	918,719	1,428,399
固定負債合計	1,330,452	1,843,718
負債合計	9,623,102	9,006,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,597,406	2,597,406
資本剰余金	2,529,295	2,513,808
利益剰余金	33,421,364	28,068,800
自己株式	△6,933,868	△1,198,983
株主資本合計	31,614,198	31,981,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,229,833	3,293,920
退職給付に係る調整累計額	163,588	145,053
その他の包括利益累計額合計	2,393,421	3,438,974
純資産合計	34,007,620	35,420,008
負債純資産合計	43,630,722	44,426,297

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 9 月30日)
売上高	22,774,385	24,990,676
売上原価	18,330,626	20,166,561
売上総利益	4,443,759	4,824,115
販売費及び一般管理費	3,791,762	3,801,016
営業利益	651,996	1,023,099
営業外収益		
受取利息	2,261	3,642
受取配当金	59,616	68,637
仕入割引	136,503	145,039
不動産賃貸料	69,917	75,513
その他	13,170	9,864
営業外収益合計	281,468	302,697
営業外費用		
支払利息	6,465	14,160
自己株式取得費用	20,947	—
その他	741	485
営業外費用合計	28,154	14,645
経常利益	905,311	1,311,151
特別利益		
投資有価証券売却益	109,264	—
固定資産売却益	—	1,227
特別利益合計	109,264	1,227
特別損失		
固定資産除売却損	10	273
特別損失合計	10	273
税金等調整前中間純利益	1,014,565	1,312,104
法人税、住民税及び事業税	337,899	449,646
法人税等調整額	17,881	21,558
法人税等合計	355,780	471,204
中間純利益	658,784	840,900
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	658,784	840,900

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	658,784	840,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	334,954	1,064,087
退職給付に係る調整額	△17,669	△18,534
その他の包括利益合計	317,285	1,045,553
中間包括利益	976,070	1,886,453
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	976,070	1,886,453
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,014,565	1,312,104
減価償却費	268,513	246,311
のれん償却額	28,802	28,802
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△272	2,038
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△31,096	△41,176
受取利息及び受取配当金	△61,877	△72,280
支払利息	6,465	14,160
有形固定資産除売却損益(△は益)	10	△953
投資有価証券売却損益(△は益)	△109,264	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,446,502	753,853
棚卸資産の増減額(△は増加)	66,574	132,617
仕入債務の増減額(△は減少)	△898,328	△909,987
その他	158,847	△154,798
小計	2,889,441	1,310,692
利息及び配当金の受取額	60,955	67,705
利息の支払額	△6,331	△13,960
法人税等の支払額	△522,142	△498,345
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,421,923	866,092
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△49,200	△49,200
定期預金の払戻による収入	25,200	25,200
有形固定資産の取得による支出	△44,636	△578,819
有形固定資産の売却による収入	—	1,227
投資有価証券の取得による支出	△1,035,968	△17,493
投資有価証券の売却による収入	118,898	—
無形固定資産の取得による支出	△9,998	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△995,705	△619,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,300,000	—
自己株式の取得による支出	△2,327,554	△58
配当金の支払額	△514,618	△468,517
財務活動によるキャッシュ・フロー	△542,173	△468,575
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	884,044	△221,568
現金及び現金同等物の期首残高	7,253,862	8,300,526
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,137,906	8,078,957

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年5月20日開催の取締役会決議に基づき、2026年6月30日付で、自己株式4,400,300株の消却を実施しております。この結果、当中間連結会計期間において利益剰余金が5,352百万円及び自己株式が5,734百万円それぞれ減少し、当中間連結会計期間末において利益剰余金が28,068百万円、自己株式が1,198百万円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	東部	中部	西部	海外	
測定工具	1,411,617	1,404,945	1,686,088	655,510	5,158,161
工作用器具	152,477	478,237	578,563	25,416	1,234,695
機械器具	1,620,653	1,942,003	3,287,921	93,587	6,944,166
空・油圧器具	1,127,041	1,192,174	2,545,381	50,159	4,914,757
その他	1,068,350	1,436,935	1,984,407	32,911	4,522,605
顧客との契約から生じる収益	5,380,140	6,454,296	10,082,362	857,585	22,774,385
外部顧客への売上高	5,380,140	6,454,296	10,082,362	857,585	22,774,385
セグメント利益	105,313	129,549	358,831	58,302	651,996

(注) 報告セグメントの利益の金額は、中間連結損益計算書の営業利益で行っており、差額はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	東部	中部	西部	海外	
測定工具	1,536,286	1,446,284	1,747,340	863,268	5,593,180
工作用器具	261,302	571,685	573,824	47,467	1,454,280
機械器具	1,688,913	2,144,899	3,409,732	121,844	7,365,389
空・油圧器具	1,439,567	1,308,005	2,685,645	67,475	5,500,694
その他	1,040,263	1,582,617	2,414,513	39,737	5,077,132
顧客との契約から生じる収益	5,966,334	7,053,492	10,831,057	1,139,792	24,990,676
外部顧客への売上高	5,966,334	7,053,492	10,831,057	1,139,792	24,990,676
セグメント利益	158,562	293,052	514,082	57,402	1,023,099

(注) 報告セグメントの利益の金額は、中間連結損益計算書の営業利益で行っており、差額はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。